

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

MFJ Superbike Final Round The 42nd MFJ Grand Prix
SUPERBIKE RACE in SUZUKA 30-31 October, 2010
2010-7

3セッションを怒濤の完全制覇! 秋吉耕佑、Race1&2 Wポール!!



**QUALIFYING
PRACTICE & RACE**
OFFICIAL RESULTS
REPORT & INTERVIEW

秋吉耕佑が得意の鈴鹿で韋駄天ぶりを発揮!? 今回が卒業レースとなる伊藤真一も絶好調!! 大混戦のタイトル争いの結末は!?



予選最終セッションで逆転ポールを狙ったが僅かに及ばなかった伊藤真一。どんなレースを見せてくれるのだろう。 レース1が2番手、レース2は5番手からスタートする中須賀克行。3連覇は果たせるのか。



ついに最終戦MFJグランプリを迎えた全日本ロードレース選手権。舞台は今年も世界屈指のテクニカルコースとして知られている三重県・鈴鹿サーキット。JSB1000クラスは3年連続チャンピオンを狙う中須賀克行が、第6戦ツインリンクもてぎを終えた時点でポイントリーダーの座に着いた。これを6ポイント差で高橋巧、7.5ポイント差で柳川明、13ポイント差で秋吉耕佑、16ポイント差で亀谷長純と続いている。最終戦は2レース制、MFJグランプリのボーナスポイントが3ポイントつくだけに、1レースでノーポイントがあれば、一気にひっくり返る。第4戦SUGOから3連勝中の伊藤真一も、トップから27.5ポイント差あるが、チャンピオンの可能性が残っている。今回のレースで全日本JSB1000クラスからの卒業を表明しているが、ここ3戦の速さは、まさに全盛期そのもの。通算勝利数は現在31。今回もダブルタイムを達成し、自身のセッケンと同じ“33勝”をマークして卒業するのが理想だろう。

強い台風14号の接近で予選開催が危ぶまれたが、予想より台風の進路がそれたことから、風はほとんどなく、雨も弱かったことから土曜日はタイムスケジュール通りに進行。セッションが始まると雨は止み、GP-MONO、ST600、J-GP3、J-GP2と各クラスの予選が進むにつれ、路面は見る見るうちに乾いていった。JSB1000クラスの予選を迎えると、ウエットパッチが所々に残るものの、各車は、スリックタイヤを履いてコースに出て行く。今回は、ノックアウト方式最初のセッションとなるQ1で、レース1のグリッドが決まる。路面は乾いていく一方だけに、伊藤は、ゆっくりとコースイン。このセッションでトップタイムをマークしたのは秋吉。Q2でも秋吉がトップにつけると、ウエットパッチの残るQ3で2分06秒743という驚異的なタイムをマークし、レース1、レース2共にポールポジションを獲得した。

「S字コーナーもかなり濡れている部分があって、危ない思いをしていたけれど、コースレコード更新を目指して走りました。レースは、伊藤さんとマッチレースになればおもしろいですね。タイトルは、獲れるものなら獲りたいですけど自力で獲れる状況ではないので、とにかく2レースとも勝つことだけを考えています」と秋吉。

V3を狙う中須賀は、Q1で2番手につけたが、Q3では、気合いが空回りしてしまい、コースイン直後にヘアピンで転倒。再スタートし、Tカーで出ていくが5

番手止まりだった。

「トップは6秒台に入ってくると思っていたので多少のリスクを覚悟して攻めていきましたが、濡れている部分にフロントを取られて転倒してしまいました。まあ2列目までに並んでいればスタートを決めれば大丈夫。レースはドライになりそうなので、しっかりマシンの状態を把握して勝ちたいですね」と中須賀。

そして伊藤は、Q1で3番手。Q3では予選タイヤを使い、秋吉に肉薄する2分06秒841をマークして2番手につけ、しっかり両レースともフロントロウからスタートする。

「マシンは、まだ完璧とはいえない。今回も決勝朝のウォームアップも使ってセットを詰めていくよ。レースは秋吉くんはもちろん、中須賀くんも来るので、逃げることはできないと思う。ただ、まだまだ余裕があるので、そこを出し切ればいいレースがでると思う」と、まだまだ伸びしろがあるようだ。前戦のツインリンクもてぎラウンドのように、スタートしてマシンの状態がよければ積極的に前に出ていく走りを見せてくれるかもしれない。

レース1は11時10分、レース2は15時20分にスタート予定。それぞれ15周で争われる。秋吉、中須賀、そして伊藤を中心に、亀谷、柳川、高橋巧などが、どこまでトップ争いに絡めるかによってレース展開が変わってくるだろう。事前テストでは2分06秒台後半というハイペースで走っていた秋吉が逃げるか? 全日本JSB1000卒業レースとなる伊藤が連勝記録を伸ばすか? そしてタイトルの行方は? 見どころ盛りだくさんの最終戦MFJグランプリを見逃すな!

[佐藤 寿宏]

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

ノックアウト公式予選Q1 正式結果

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走28台
●[Race1]決勝スタート/11:10(15周)

Pos	No	Rider	Team	Time
1	64	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	2'09.059
2	1	中須賀 克行	YSR Racing Team with TRC	2'10.005
3	33	伊藤 真一	Keihin Kohara R.T.	2'10.701
4	87	柳川 明	TEAM GREEN	2'12.032
5	54	武田 雄一	Taira Racing	2'12.923
6	48	出口 修	PLOT PANTHERA	2'13.113
7	6	亀谷 長純	Honda DREAM RT 桜井ホンダ	2'13.506
8	01	芹沢 太麻樹	エヴァンゲリオンRT初号機TRICK☆STAR	2'14.408
9	634	高橋 巧	MuSASHI RT ハルク・プロ	2'14.835
10	99	戸田 隆	G-TRIBE	2'17.781
11	69	谷 誠士郎	BMS RACING	2'17.806
12	16	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	2'18.035
13	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	2'18.041
14	27	久保山 正朗	Honda 浜友会 浜松工スカルゴ	2'18.882
15	51	高橋 英倫	BEET RACING	2'19.153
16	36	鈴木 大五郎	BKライディングスクール	2'19.311
17	83	中村 知雅	中村Eng&ジャパンプランニング	2'19.644
18	17	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎B'WISER.T	2'20.201
19	73	佐藤 大輔	SRFクラブRAIJO+1.5	2'21.110
20	20	吉田 光弘	Honda 緑園会熊本レーシング	2'21.571
21	28	高田 達人	Tras&NKB+8810R	2'22.341
22	88	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING	2'22.802

以上予選通過車両:

23	81	北口 浩二	クラウン警備保障RACING	2'22.998
24	25	原田 洋孝	R.S.ガレージハラダ姫路	2'23.081
25	72	大貫 貴彦	ロケットケロタン・ネオラグーナ	2'23.432
26	50	宇佐見 保弘	チーム・エッチングファクトリー	2'23.657
27	62	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	2'25.087
28	84	田村 武士	テイクアップOIRF	2'26.379

予選通過基準タイム(110%) 2'22.913

★JSB1000[Race1]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q1(第1セッション)にて記録されたタイム順となります。

Pole Position

秋吉 耕佑 2'09.059(Q1)
2'06.743(Q3)

「1台をドライセッティング、もう1台をウエットセッティングにして走っていたんですけど、Q1をドライセッティングで走ったら、あまりグリッドがよくなかったんで、レイン用に乗り換えて、アタックを最後まで行いました。タイムも徐々に上がってきて、うまく走れたんじゃないかなと思います。Q3は決勝に向けてタイヤをいろいろ試したかったのでタイヤを確認できてよかったと思います。予選のような中途半端な状況はイヤなのでレースは、ドライならドライ、レインならレインで走りたいですね。ドライなら、もてぎのような戦いになるとと思いますが、全開で走るだけです」



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW



宇井陽一がJ-GP2 クラスで初のポール ポジション!



Pole Position 宇井 陽一 2'22.121

「濡れた路面をスリックタイヤで走るのはグランプリの経験で慣れているし、スリックが水の上でも、オートバイの動き方ひとつでグリップするようになるのを知っていたので、早めにスリックに履きかえたのですが、意外と(路面が)乾くのが遅かった。コースに出て2、3周はドキドキしたけれど、そのうちタイヤも暖まってきた。残り5、6分で、リアを少しやわらかいタイヤに換えたら、日が出てきて急激に乾いてきた。あれ以上乾いてしまうと、ボクのマシンは震度5弱のチャタリングに襲われ始めるので「乾くな、このままいってくれ!」と思っていました(笑)。決勝は来年に向けてのデータを集めるためにも、サスペンションのセッティングをガラッと変えて挑むつもりです」



好調!! 大崎誠之 今季2度目のポール ポジションをゲット!



Pole Position 大崎 誠之 2'24.922

「第4戦SUGOから新しくなったダンロップのレインタイヤをずっと試したかったけれど、事前テストも雨が降らず今回、初めて履いた。それが、すごくフィーリングがよくてグリップもいい。雨は得意なので、普通に走れば上の方にいけるとは思っていたけれど、ここまで(2番手と)差がつくとは自分でもびっくりしました。福田くんは、前日の合同走行でもボンとタイムを出してきたのはさすがだなと思った。決勝も福田くんとは(山口)辰也くんが来ると思うが、できれば3台で争いたい。一発タイムは、かなわないかもしれないけれど、レース後半はいける自信があるので、前回みたいに、いいところでスパートして逃げられたいいなと思います。あとは相手の出方を伺いながら組み立てていきたいですね」



山本剛大P.P.獲得!! Team NOBBYが 予選ワンツー!



Pole Position 山本 剛大 2'27.678

「今回のレースはチャンピオン争いが関係ないので、とにかく自分としては攻めのレースがしたいと思っていました。予選は難しいコンディションだったので、その中でベストの走りをしようとトライしました。非常にマシンの仕上がりもよく、まだまだ攻め込める状況だったのですが、シケインの入り口で少し行き過ぎて転倒してしまいました。うまくリカバリーできれば、もう少しタイムを詰めることができると思ったので、そういう意味でも残念です。足が痛むのでレースに出られるかは分からないのですが、チームスタッフが出られるようにサポートしてくれているので、なんとかグリッドには並びたいと思っています」



- 予選・決勝開催日 / 10月30日(土)
- 天候・路面 / 予選(曇/ウエット)・決勝(曇/ドライ)
- 決勝レース / 9周

RACE REPORT



写真上 #3藤井と#45岡田の白熱のバトル
写真下 優勝・藤井謙汰(中央)、2位・岡田義治(左)、3位・松井洪弥

藤井謙汰、ライバル を抑え込み4連勝!! 逆転チャンピオン!!

ウォームアップラップを終え各車グリッドにつくが、6番グリッドの谷川壮洋のエンジンがかからず、周回数9周で決勝は仕切り直しとなる。谷川が最後尾グリッドにつきレースがスタート。

ホールショットは小室旭が奪うが、オープニングラップのバックストレッチで藤井謙汰がトップに立つとレースをリード。一方、小室は松井洪弥、岡田義治にかわされ、3周目には4番手にポジションを落とす。

トップを走る藤井に唯一、バトルを仕掛けたのは岡田。7周目のヘアピンコーナーで藤井のインを突き前に出ると、2台はバトルを繰り広げるが、8周目のバックストレッチでトップを奪い返した藤井が岡田を振り切りトップでチェッカー。見事4連勝をマークし、大逆転チャンピオンに輝いた。2位は岡田。3位は松井が初表彰台をゲット。小室は最終ラップでファステストラップを叩き出す意地を見せるが、惜しくも4位でタイトルを逃してしまった。

WINNER 優勝・2010チャンピオン / 藤井 謙汰

「金曜日に2分22秒台を出して大満足していたんですが、やっぱりレースで勝たなきゃダメだと思い直しました。決勝は岡田選手が絶対に来ると思っていたので、早いうちに抜いておこうと思いました。抜いたあとはペースが上がらなくてヒヤヒヤしましたが、ストレートは自分のほうが速かったし、スプーンカーブのブレーキングにも余裕がありました。チャンピオンが獲れたことより、金曜日に22秒8というタイムが出せた満足度のほうが大きいです。まだJ-GP3のレースが残っているし、回りの人のサポートがあってこそこのレースなので、皆さんに感謝してJ-GP3のレースに挑みたいと思います」

GP-MONO

決勝レース結果

Pos	No	Rider	Team	Total Time
1	3	藤井 謙汰	TSR	21'52.090
2	45	岡田 義治	プリミティブR.T	21'52.703
3	18	松井 洪弥	TEAM PLUS ONE	21'53.605
4	2	小室 旭	TeamKOMUROwithHARC	21'54.080
5	16	高瀬 敬次	近畿スポーツランド マックウェスタン	22'03.096
6	63	伊藤 公一	クリエイティブサイン	22'03.359
7	32	葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart	22'03.555
8	6	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	22'18.076
9	46	星野 知也	ミニニBeatテリー&カリ	22'18.635
10	17	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	22'21.580
11	28	瀬古 直樹	ZIPBIKE&TOS-R	22'30.119
12	71	大迫 敏信	TEAM PLUS ONE	22'31.531
13	23	畑中 要	FTR・タイヤナビ・Big☆	22'37.394
14	66	鴻池 冬貴	マジカルR & ブルーポイント	22'40.242
15	14	山本 恭裕	広島カジタRacing&LRC	22'46.203
16	77	奥野 翼	チームリトルウィング+吾妻魂	22'46.726
17	70	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	22'46.747
18	33	楠元 晃一	Garage130R&Jr's	22'46.859
19	73	中臺 翔太	TeamKOMUROwithHARC	22'47.548
20	22	江崎屋 学	犬の乳産園.JP/PRCS	22'47.704
21	36	松江 保幸	Projectu7C HARC	23'02.925
22	72	岩本 有司	(有)岩本商事+Kfb/PRCS	23'05.020
23	48	法月 多嘉夫	MARS&OMEGA&RPペアー	23'05.561
24	24	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	23'06.863
25	51	増田 顕也	クラブM+松田塾+翔RT	23'12.122
26	35	森田 直樹	Projectu7C HARC	23'46.758
以下フィニッシュラインを通過:				
27	96	田中 聡	パワーバイブレーシング	15'25.421

以上 規定周回数完走:

41 岡崎 静夏 TeamSHIZU&IF 9Laps
Best Time / #2 小室 旭 TeamKOMUROwithHARC
2'24.239 9/9 145.28km/h

規定周回数 6

MFJ国内競技規則 ロードレース競技規則17-4-11(スタートディレイド)により、レース周回数を9周とした。

MFJ Superbike Final Round The 42nd MFJ Grand Prix 30-31 October, 2010 公式予選結果



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走28台
●[Race2]決勝スタート/15:35 (20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	64	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	ホンダ CBR1000RR	2'06.743
2	33	伊藤 真一	KeihinKoharaR.T.	ホンダ CBR1000RR	2'06.841
3	6	亀谷 長純	Honda DREAM RT 桜井ホンダ	ホンダ CBR1000RR	2'08.788
4	87	柳川 明	TEAM GREEN	カワサキ ZX-10R	2'09.080
5	1	中須賀 克行	YSP Racing Team with TRC	ヤマハ YZF-R1	2'09.283
6	634	高橋 巧	MuSASHi RT/ハルク・プロ	ホンダ CBR1000RR	2'10.070
7	48	出口 修	PLOT PANTHERA	スズキ GSX-R1000	2'10.461
8	54	武田 雄一	Taira Racing	ヤマハ YZF-R1	2'11.026
9	1	芹沢 太麻樹	エヴァンゲリオンRT初号機TRICK☆STAR	カワサキ ZX-10R	2'12.548
10	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	スズキ GSX-R1000	2'12.798
11	27	久保山 正朗	Honda 浜友会浜松エスカルゴ	ホンダ CBR1000RR	2'14.585
12	69	谷 誠士郎	BMS RACING	ホンダ CBR1000RR	2'15.488
以上 Q3にて決定:					
13	51	高橋 英倫	BEET RACING	カワサキ ZX-10R	2'15.282
14	16	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	カワサキ ZX-10R	2'15.401
15	28	高田 達人	Tras&NKB+8810R	BMW S1000RR	2'16.230
16	99	戸田 隆	G-TRIBE	BMW S1000RR	2'16.464
17	17	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎B'WISER.T	ホンダ CBR1000RR	2'16.537
18	36	鈴木 大五郎	BKライディングスクール	スズキ GSX-R1000	2'17.005
19	83	中村 知雄	中村Eng&ジャパンプランニング	ホンダ CBR1000RR	2'17.593
20	88	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING	ヤマハ YZF-R1	2'17.852
21	20	吉田 光弘	Honda 緑陽会熊本レーシング	ホンダ CBR1000RR	2'17.970
22	73	佐藤 大輔	SRFクラブRAIJO+1.5	ホンダ CBR1000RR	2'20.333
以上 Q2にて決定:					
以下 Q1にて決定:					
以下予選不通過車両:					
23	81	北口 浩二	クラウン警備保障RACING	ホンダ CBR1000RR	2'22.998
24	25	原田 洋孝	R.S.ガレージハラダ姫路	カワサキ ZX-10R	2'23.081
25	72	大貫 貴彦	ロケットケラタン+ネオラグーナ	ホンダ CBR1000RR	2'23.432
26	50	宇佐見 保弘	チーム・エッジングファクトリー	ヤマハ YZF-R1	2'23.657
27	62	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	ヤマハ YZF-R1	2'25.087
28	84	田村 武士	テイクアップOIRF	スズキ GSX-R1000	2'26.379

★JSB1000[Race2]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式
予選Q3(第3セッション)まで終了したタイム順となります。



●予選:天候/曇 路面/ウエット 出走27台
●決勝スタート/12:15 (12周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	10	y	山本 剛大	Team NOBBY	ホンダ RS125R	2'27.678
2	9	y	日浦 大治朗	Team NOBBY	ホンダ RS125R	2'29.043
3	3		尾野 弘樹	BATTLE FACTORY	ホンダ RS125	2'29.292
4	15	P	仲城 英幸	Projectμ7C HARC	ホンダ HP25RW	2'30.358
5	11	y	篠崎 佐助	チーム テック2	ヤマハ TZ125	2'30.744
6	5		山田 哲己	TEAM PLUS ONE	ホンダ RS125R	2'31.021
7	1		菊池 寛幸	WHEELIEwith KRT	ホンダ RS125	2'31.202
8	6	y	大久保 光	18 GARAGE RACING TEAM.	ホンダ RS125R	2'31.525
9	4		徳留 真紀	チームアライアンス&ハルクプロ	ホンダ RS125	2'31.601
10	29	y	渡辺 陽向	Projectμ7C HARC	ホンダ RS125R	2'31.763
11	12	y	長島 哲太	Projectμ7C HARC	ホンダ RS125R	2'31.817
12	77	y	野左根 航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	ヤマハ TZ125	2'32.116
13	21	y	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	ホンダ RS125R	2'32.310
14	61		今中 満	team RISKY	ホンダ RS125R	2'32.339
15	71		安村 武志	チーム テック2	ヤマハ TZ125	2'32.459
16	23		鎌田 悟	ENDURANCE + 桶川スポーツランド	ホンダ RS125R	2'32.686
17	13	y	浦本 修充	MuSASHi RT ハルク・プロ	ホンダ RS125R	2'33.649
18	74		毛利 雅己	チーム KOHSAKA	ホンダ RS125R	2'33.946
19	7		矢作 雄馬	ENDURANCE	ホンダ RS125R	2'35.082
20	76		高杉 奈緒子	モトバムWithヒゴボタマス	ホンダ RS125R	2'35.405
21	31		中山 翔太	TEAM TECHNICA	ホンダ RS125R	2'35.808
22	91	y	森 俊也	racing sayama	ホンダ RS125R	2'36.292
23	17	y	藤井 謙汰	TSR	ホンダ RS125R	2'36.629
24	35		大西 隼	Projectμ7C HARC	ホンダ RS125R	2'37.286
25	37		川瀬 啓一郎	KOHAUSA+バックヤードガレージ	ホンダ RS125R	2'37.435
26	27		天野 邦博	Honda 狭山レーシングチーム	ホンダ RS125R	2'39.142
27	28		大塚 卓也	Honda ブルーヘルメットMSC	ホンダ RS125R	2'39.233

以上予選不通過車両:
予選通過基準タイム (110%) 2'42.445
※y=Youth Cup P=プロト



●予選:天候/曇 路面/ウエット 出走26台
●決勝スタート/10:10 (12周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	75	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	ヤマハ YZF-R6	2'24.922
2	26	堀垣 誠	AKENO SPEED	ヤマハ YZF-R6	2'26.476
3	30	山口 辰也	モリワキクラブ	ホンダ CBR600RR	2'27.392
4	35	中山 真太郎	ATU.AKI team しんたろう with KRT	ホンダ CBR600RR	2'28.019
5	34	大木 崇行	Team ARA 虎の穴	ヤマハ YZF-R6	2'28.025
6	73	中上 貴晶	MuSASHi RT/ハルク・プロ	ホンダ CBR600RR	2'28.554
7	13	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	ホンダ CBR600RR	2'29.137
8	11	渡辺 一馬	CLUB PLUS ONE	ホンダ CBR600RR	2'29.140
9	634	小林 龍太	MuSASHi RT/ハルク・プロ	ホンダ CBR600RR	2'29.396
10	31	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	カワサキ ZX-6R	2'29.499
11	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	ホンダ CBR600RR	2'30.122
12	14	津田 拓也	WestPower	スズキ GSX-R600	2'30.265
13	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	ヤマハ YZF-R6	2'30.388
14	2	中富 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	ヤマハ YZF-R6	2'30.652
15	78	波多野 祐樹	GRACERACING TEAM	カワサキ ZX-6R	2'30.851
16	6	岩田 悟	TSR	ホンダ CBR600RR	2'31.073
17	3	佐藤 裕児	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	ヤマハ YZF-R6	2'31.398
18	56	岡村 光矩	RSレーシング&フィービー	ホンダ CBR600RR	2'31.794
19	87	大田 雅裕	KENクラブ	カワサキ ZX-6R	2'31.927
20	27	中津原 尚宏	研友会栃木PGレーシング	ホンダ CBR600RR	2'32.162
21	81	佐藤 周	MST★TAMITON-R	カワサキ ZX-6R	2'33.428
22	44	斎藤 一輝	ウイングヨシRC	ホンダ CBR600RR	2'34.391
23	39	阿久津 晃輝	2りんかんRT & DOG FIGHT R	ヤマハ YZF-R6	2'36.938
24	91	山崎 智博	RS-ITOH	カワサキ ZX-6R	2'37.586
25	77	岡崎 晋也	RS-ITOHGTMM丸進金属	カワサキ ZX-6R	2'37.923
以上予選不通過車両:					
26	49	須磨 貞仁	H.M.F	スズキ GSX-R600	2'56.134

予選通過基準タイム (110%) 2'39.414



●予選:天候/曇 路面/ウエット 出走9台
●決勝スタート/14:15 (15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	41	宇井 陽一	41PLAN/PRO-TEC	ヤマハ YZF-R6	2'22.121
2	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	ホンダ CBR600RR	2'22.351
3	73	小西 良輝	MuSASHi RT/ハルク・プロ	ホンダ CBR600RR	2'24.564
4	82	清水 直樹	MST★TAMITON-R	カワサキ ZX-6R	2'25.358
5	93	高橋 江紀	バーニングブラッドRT	ホンダ RBB6	2'25.542
6	91	山口 辰也	モリワキクラブ	ホンダ CBR600RR	2'25.822
7	56	及川 誠人	伊藤レーシングGMDスズカ	ヤマハ YZF-R6	2'31.012
8	79	朝比奈 宗正	アサヒナレーシング	アサヒナ Z600	2'31.191
以上予選不通過車両:					
9	70	中尾 健治	レイラスポーツ	ヤマハ YZF-R6	2'37.260
55	生形 秀之	エスバリスドリームレーシング	スズキ GSX-R600	出走せず	

予選通過基準タイム (110%) 2'36.333

INFORMATION



伊藤真一選手がモリワキクラブ開催

今年で全日本ロードレースを卒業する伊藤真一選手が、10月31日(日)のピットウォークの時間にメモリアルランを実施。伊藤選手がライディングして、1999年の全日本ロードレース・スーパーバイククラスでランキング4位になったV4サウンドが、伊藤選手のライディングでよみがえります。

決勝レースはもちろん、このメモリアルランにも大注目です!!

- 日時/10月31日(日)ピットウォーク中
- 場所/鈴鹿サーキット国際レーシングコース
- マシン/1999年全日本ロードレース・スーパーバイククラス Honda RVF/RC45
- 協力/Honda Collection Hall

※天候等の状況により、中止となる場合がございます。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

09:55 -	ST600 コースインへ選手紹介
10:10 -	ST600決勝レース 12Laps
10:55 -	JSB1000 コースインへ選手紹介
11:10 -	JSB1000[Race1]決勝レース 15Laps
12:00 -	J-GP3 コースインへ選手紹介
12:15 -	J-GP3決勝レース 12Laps
13:00 -13:40	ピットウォークへ伊藤真一選手メモリアルラン開催
14:00 -	J-GP2 コースインへ選手紹介
14:15 -	J-GP2決勝レース 15Laps
15:05 -	JSB1000 コースインへ選手紹介
15:20 -	JSB1000[Race2]決勝レース 15Laps
16:30 -	※レース終了後〜モーターサイクルパレード